



最近は川西に、よく行く。まどかにアイス食べに。他。

9/9 はフレンドリープラザで開催された「PA 講座」。川西町出身のサウンドエンジニアの安部徹さんが、ちょうど帰省して開催された。普天間かおりさんの PA だったのかな。

自分も関連する仕事しているし、色々と独学だから、仕事でやるなら行ってみようか。と、参加したら。。。見てください！上の写真を！「塗君は、色々知っているから音出しね。他の人が PA 体験するから」と言われてはいませんが、借り物のギターを渡され、即興演奏で stand by me、E と A のブルース、神田川、ゴスペル（賛美歌？）をよくわからず演奏して、クリスチャンの留学生が「イエスさまー！」と熱狂（発狂!?!）する曲の伴奏をしたりとカオス状態。あれっ？わたくし受講者なんすけど ww と言いたいのだが。

まあ、よく出来てるんですよ、人員配置というか、集まるメンバーが。知っている人ばかりで、音楽好きな人ばかり。そりゃあ JAM りたくもなるもんです。そんでもって、9/17 はルータバキンという JAZZ の有名人が JAM に来るので観に行きます。Facebook で偶然発見して、即効電話しました。いや～川西は何か持ってますね。強運を。でも、思うのは JAM 片倉さんとか、プラザの栗田さんが日ごろから積極的に活動していることが、今回の PA 講座にも結びついてるなということ。小さいことの積み重ねです。何事も。

帰り道、果てしない一本道、目の前に広がるパノラマ風景を見て考えました。「川西はなんか懐かしいんだよねあ」と、アクセルが少し緩む。出口で大塚センターの方に会うし、とにかく印象に残る人が多い。プラザの出口から駐車場までの道に全てが詰まっている気がした。そんでもって、帰りの一本道は開放感。キョリ感が上手だなあ、だから川西は懐かしい。そういえば、法政大学の学生が夏合宿ゼミで川西 PR ポスターを作ったそう。ニュースでチラリと拝見したら、「だしおしみなんてしないから。。」というキャッチコピーがあった。「若者&よそ者」の感性は最強ですね。彼ら、彼女らは川西が秘めているポテンシャルに触れたのかもしれませんが、出し惜しみない人たちにとって「素で全力」なことが普通なんです。そういう人としての清らかさを学生は見つけたのでしょ。と、考えていたら、家に着きました。